

自己評価

四万十福祉専門学校自己評価

本学の教育理念・教育目的は、介護福祉士の仕事を志す学生に対し、豊かな情操と科学的知見を与えると共に専門職に必要な知識と技術を授け、社会の発展に寄与する人材を育成することです。

全国に先駆けて高齢化が進む高知県では、より一層介護職の活動の場の拡大が求められており、令和 7 年には 5 5 0 人の介護人材が不足すると推計されております。超高齢化社会に向けてこの地に貢献できること、地域共生社会作りに向け、介護ニーズのある方々の生活に向き合い、その方々の生き方や生活全体の支援、心身の状況なども理解したうえで、その方がその人らしく生活を存続していくため（生活の質を担保するため）にはどのような課題があるか、いかにその課題に向き合っていくのか等を分析し、多職種と連携しながら、環境の整備を行いつつその方に最適な介護を提供する、そのような介護福祉士を養成することを本学の使命と捉えています。

上記目的のために、法的整合性を踏まえつつ学則を定めており、次年度に向け教職員の質の向上をはかりつつガバナンス強化に努めております。

介護教員の動向

1. 目まぐるしく変化する介護業界の現状を把握し、生きた言葉として教育に生かせるよう、令和 7 年 4 月より教員は様々な介護現場（主に実習先施設）にお

いて研修を行っています。また、施設の特性など教員間での情報共有を行っています。

<研修場所> ○認知症対応型共同生活介護 グループホーム

○介護医療院

○障害/通所介護：児童/放課後等デイサービス

○共生型デイサービス

○介護老人保健施設

2. 外国人留学生の受け入れに向け、出身国の生活様式や宗教などについて学び迎え入れた学生達に届く授業が行えるよう準備を整えています。入学者がこの学校に来て良かったと思えるよう環境含め更なる準備を整えて行きます。

次年度に向けた課題及び対応

1. 入学生確保に向けた取り組みを実施します。

近隣高校の訪問、各施設へ訪問、パンフレット及び募集要項の配布

学校見学への対応を継続的に実施します。

2. 評価項目内容の見直しを行います（授業評価、成績評価、学校評価など）

3. 授業計画の追加及び見直しを実施します（留学生に対応できる工夫など）

4. 国家試験対策専任教員の選抜・養成を行います。